

議員特別研修実施報告書

報告議員名	青山 豊	報告日	平成30年10月 / 日
調査研究・研修等 名 称	思い出ベンチ事業		
実 施 日	平成30年10月25日 ~ 平成30年10月26日		
会 場	東京都新宿区・東京都建設局公園緑地部公園建設課		
調査研究・研修等の 概 要	<p>「思い出ベンチ」事業は都内の公園及び墓園の維持管理費用の一助とするべく、園内のベンチに個人・団体がスポンサーとなってメッセージプレートを設置するものである。</p>		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙参照		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

東京都建設局「思い出ベンチ」事業

説明者：菅原淳子・公園建設課長
野口昌一・公園建設課長代理
金田百合子・公園建設課公園設計担当

- H15年度から始めた事業であり、財政が苦しい中において財源確保を目的とした手法のひとつとして考案した。
- 同時に事業を通じて「公園に愛着をもっていただく」ことも目的だった。
- 交換よりも新規設置するための事業。まだ設置したい公園がかなりある。
- 都内82公園の年間維持管理費は約92億円。
- 今後は災害時の修繕費なども見込まなければならない。

※募集パンフ、実施スケジュール、推移表などは別紙参照。

募集するタイプは20万円と15万円の2つ。寄付額がそのままベンチ設置の予算となるので公園内の他維持管理費用にまで賄えないのが現状。

しかしながら、放置されたぼろぼろのベンチを交換する費用にもなるし、ベンチだけでもそれで賄うことができるので、予算的に助ける役割を果たしている。今後、災害時の修繕費もかかるだろうという見込みの中ではなおさらである。公園内の美化にも役立つ。

財政が苦しい中、建設関係に限らず、あらゆる手法を使って自主財源の確保を目指さなければならない重要性を改めて学んだ。